

5.2.4. 同率 1 位 生態学概論【秋 A】

動植物の生態や環境について学びます。この授業は生物 6 概論で唯一、授業中に小テストに答えるシステムが毎回あり、必ず時間割通りの時間に授業と小テストを受講しなければなりません。個性豊かな先生たちによる講義が毎回展開され、愛のある厳しさを持つ先生が多いです。期末テストも実施され、テストは他の概論より英語の割合が多いです。テストの問題は半分くらい英語です。一番厳しい概論といっても過言ではないかも。

5.2.5. 同率 4 位 遺伝学概論【春 C】

主に遺伝の仕組みについて学びます。毎回の小テストと期末のオンラインテストで成績がつけられます。比較的スケジュールに余裕がある春 C 開設ということやオンラインテストということもあり、油断すると落単します。オンラインテストはガチガチの記述式であなたのタイピング力が試されます。

5.2.6. 同率 4 位 動物生理学概論【秋 B】

動物の様々な生理現象を学びます。3 人の先生で担当されていて、生殖・発生、神経、摂食・体温調節に担当が分かれています。毎授業で課されるレポートと期末テストによって成績がつけられます。テストが重かったという話は他の概論に比べたらあまり聞きません。

5.2.7. 6 位 植物生理学概論【秋 B】

植物の生理現象について学びます。対面とオンデマンドの選択式で、毎回レポート課題が課されます。期末テストや期末レポートはなく、授業後のレポートで成績が評価されます。

5.3. 基礎生物学実験編

5.3.1. 基礎生物学実験について

基礎生物学実験は生物学類の 1 年生が避けては通れない道です。春 AB、秋 AB は週に一回、秋 C は週に二回実験があり、毎回の実験に合わせてレポート課題やスケッチの提出^{*3}が求められます。春 AB が基礎生 I、秋 AB が II、秋 C が III です。春 A にはレポート添削の授業もあるので、それも踏まえて早いうちに自分なりのレポートの書き方を確立しておくといいかなと思います。本項では 2 年生にアンケートをとり、基礎生物学実験で行った数々の実験の中で印象に残った実験をランキング形式でまとめてみました。

5.3.2. 1 位 糖代謝の測定【基礎生 III】

基礎生物学実験 III の後半で行われるこの実験。この実験は^{*4}とされています。

³ もちろん、すべての回で課題が課されるわけではないです。秋 C は基本的に他が暇なので週二回でも意外と耐えられます

⁴ 失敗するのが前提